

令和6年度 教科研修会Ⅱ 国語科 授業の様子

単 元 名	人物像を明らかにする —アイスプラネット—		
授 業 学 級	2年D組 (41名)	授 業 者	和田 康孝
教 科 の 学 び	読むこと (心情曲線を描く・人物像を捉える)		

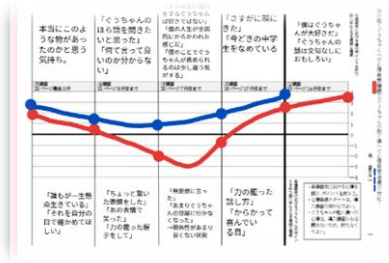
【本時の様子】

生徒たちは、前時にグループでまとめた心情曲線の違いに着目し、その違いの根拠を探るため、「『僕』の気持ちが『ぐうちゃん』から最も離れたのはどの場面か。」について、描写を基に追究しました。

③の場面が最も気持ちが離れていると考えていたグループでは、グループ追究の中で③の場面の「あまりぐうちゃんの部屋に行かなくなっていた」という描写と④の場面の「二度とぐうちゃんの部屋には行かなかった」という描写に着目し、「二度と」の方が気持ちが離れているのではないかと考えました。しかし、④の場面の「ほらばっかりだったじゃないか。」という描写からは「僕」のさみしさを感じ取り、「行かないでほしい」という思いがあるなら気持ちが離れたのではないという意見もあり、グループ内では③の場面と④の場面で意見が分かれてしまいました。

全体共有の中で、「ぶっさらぼうに言っていた。」という表現に着目したグループの「これは意地を張っているだけで、本音ではない」という発言や「自分もけんかをひきずってしまうから、④は③の気持ちを引きずっているだけだ。」という発言を聞き、③の場面が最も気持ちが離れていることをグループ内で確認することができました。

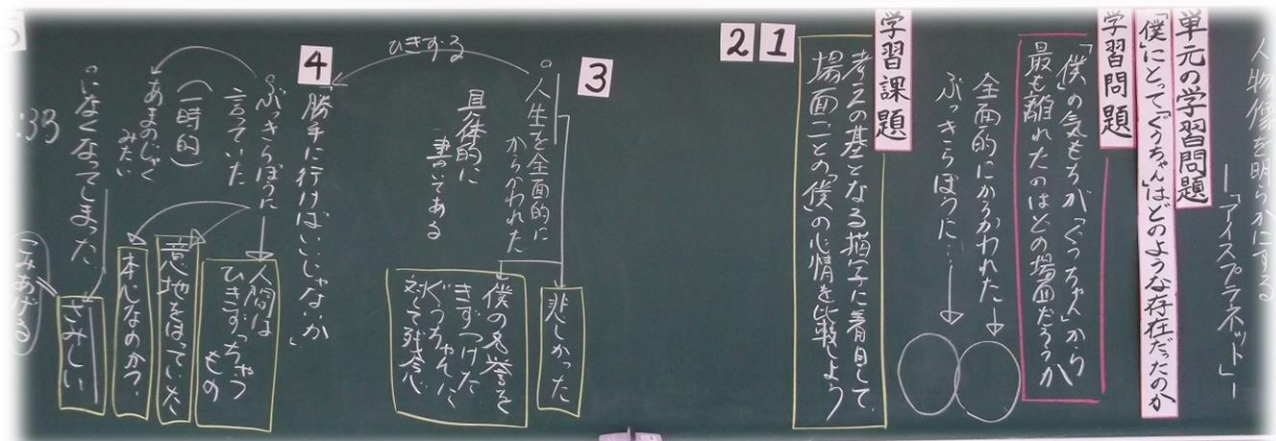
今後は、「ぐうちゃん」の人物像に迫り、二人の関係性について考えていきます。



グループでまとめた心情曲線

グループ追究の様子

全体追究の様子



本時の板書